

禁煙は健康を守る選択肢

禁煙に遅すぎることはありません。
失敗を恐れず、
あきらめないことが大切です。

Kids generation



●10か月健診時に撮影した写真を2か月に分けて紹介しています。

5月31日は「世界禁煙デー」

たばこをやめて癌予防

たばこは、がんなどの原因の3割を占めると言われています。がん発症の危険度の指標として、1日当たり平均喫煙量(本数)と喫煙年数を掛け合わせた「プリンクマン指数」があります。これによると、喫煙量が400以上(1日20本×20年)で肺がんの発症リスクが高くなると言われています。禁煙は、もっとも確実ながん予防であり、呼吸器や循環器の病気の予防にもなります。

吸わない人にも害がある【受動喫煙】

たばこを吸わない人が、喫煙者の近くにいることでたばこの煙を吸わされてしまうことを「受動喫煙」といいます。「受動喫煙」も喫煙と同様に健康に害を及ぼし、1日に20本以上たばこを吸う配偶者を持つ人は、本人がたばこを吸わなくても肺がんによる死亡率が通常の2倍以上に高まります。子どもへの影響も深刻で、肺炎や気管支喘息など呼吸器系疾患にかかる割合が高くなることもわかっています。

小諸高濱虚子記念館 企画展

「虚子 小諸疎開を迎えた人々 パートⅡ」

高濱虚子記念館 26-3010 / 開館時間 9:00~17:00
入館料:一般300円 小中学生200円/休館日:水曜日[祝日の時は木曜日]

人々に 更に紫苑に 名残あり
秋晴の 名残の小諸 杖について

これは、近代俳句の巨匠高濱虚子が昭和22年10月の「桃花会」で詠んだ句です。小諸を離れ、鎌倉に帰った虚子は翌23年自ら主宰する俳句雑誌「ホトトギス」に「今日になると30年間住み来た鎌倉の人々よりも却って3年間のこの小諸の人々の方に親しみが深いやうな感じさへするのであった」と記しています。

— 何が、虚子をそうさせたのでしょうか —

企画展では、この虚子の「思い」を、疎開を迎えた地元の方々と日常的な「かかわり」の中から具体的にしてみました。与良界限の人々や句会で直接指導を受けた方々からの「かかわり」の「証言」や「資料」を基に、虚子の人間性に迫ってみました。



高濱虚子【たかはま きよし】

明治7年、伊予松山に生まれる。中学校時代から郷土の先輩、正岡子規に兄事。京都遊学を経て上京し新派俳句の俊秀として活躍する。俳誌「ホトトギス」を舞台とし、文芸活動を多岐にわたって行う。

小諸市・軽井沢町のイベント

情報などをお知らせします。

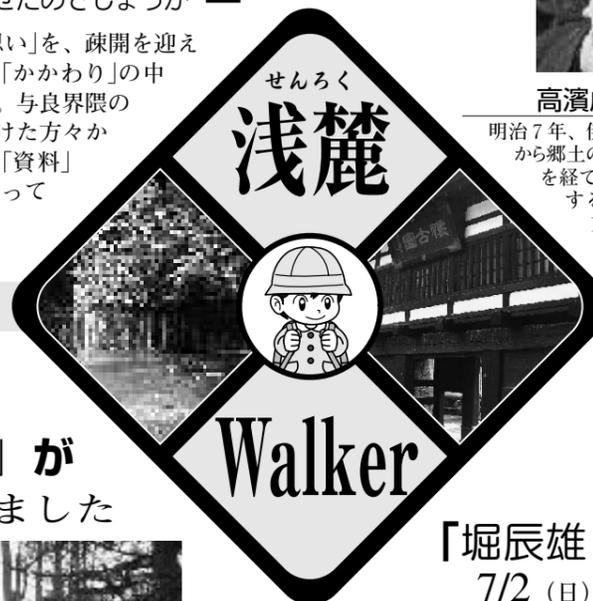
堀辰雄文学記念館入口に
追分宿「本陣門」が
移転・復元されました



この門は、

江戸時代天保2年(1831)に追分宿本陣の裏門として建てられたと考えられ、その後明治末頃、御代田町塩野の内堀家の表門として移築され、門に覆屋をかけ約100年の間大切に保存されていました。内堀家ではこの門が軽井沢町の歴史的遺産であることをご理解され、当主の内堀志通彦氏から昨年町へ寄贈され町では追分宿を語るシンボルとなるよう街道沿いの堀辰雄文学記念館入口に移転・復元しました。往時の追分宿をしのびにお出かけください。

【問い合わせ】教育委員会 文化振興係 ☎45-8695



せんろく
浅麓

Walker

軽井沢を
こよなく愛した

文豪 堀辰雄の企画展

「堀辰雄 - 遺愛の品々 -」
7/2 (日) まで《堀辰雄文学記念館》

【入館料】 一般: 400円
小・中・高校生: 200円

【休館日】 水曜日、祝日の翌日

問い合わせ: 堀辰雄文学記念館 45-2050